

人材確保・育成対策の取り組み事例（自動車整備事業）

■ 事業場名：鈴鹿自動車工業株式会社

金子堅二代表取締役会長様、並びに、金子隆一代表取締役社長様にお話をお伺い致しました。



（整備工場出入口）



（整備工場内部）

創業当時の気持ちを忘れないように、社訓は「まごころ」

お客様のお車を扱わせていただく上で最も大切なことは「まごころ」と信じております。私たちは「地域一番店」を目指し、まごころと優しさで時代に立ち向かってまいります。

事業場名：鈴鹿自動車工業株式会社

企業情報 創業 昭和 37 年

軽自動車をはじめとし、乗用車から大型トラック・クレーン・特装車まで、あらゆる車種の車検・整備・钣金・塗装・新車・中古車販売・保険販売など。

事業場の概要 小型／大型車、大型重機、特装車などの車検、点検整備、修理、钣金、塗装

【事業場の所在地】三重県鈴鹿市

【事業場の開始年】昭和 51 年、認証取得 S52 年 6 月、指定取得 S58 年 4 月

【従業員数等】整備要員 13 人（うち検査員 6 人）、事務員 8 人、整備以外の従業員 8 人

【営業時間等】AM8:30～PM5:30（休憩 80 分）

【休日】日曜、祝祭日、その他（弊社カレンダーによる週 40 時間体制）

事業者インタビュー

〈自動車整備士の人材不足についてどのように感じですか〉

近年、钣金・塗装はそうでもないですが、大型車の自動車整備士が減少しており人材不足は深刻な状況です。事業状況は順調ですが大型車整備の人員が不足しているため大型担当者への負担が多くなり離職率が高くなる悪循環が続いています。今後は、人材の育成にも力を入れ離職者を増やさないためにも、経営者が会社の未来のビジョンをしっかりとって社員に接していきたいと考えています。

〈募集方法でアピールポイントはありますか〉

人の繋がりを大切にしており、職員から紹介のあった方は積極的に採用するように心がけています。無資格の方の採用もしており、入社後の資格取得も100%支援を実施しています。

また、ノルマに寄らない売り上げ手当を採用しました。売り上げに貢献した分だけ手当として職員に還元することで士気が上がっています。

当社は、鈴鹿という知名度を活かしあらゆる車の钣金塗装、車検、点検整備を手掛けており、特に大型クレーン製造会社のサービス工場に指定され国内最大級の大型フレーム修正機を使用した整備は、他では味わえない作業充実感があると思っております。

その他、ワーク・ライフ・バランスとして年間休日100日を目標にしており、有給休暇も取りやすい環境にしています。

人材確保の取り組み

- 過去に、中学生を対象としたインターンシップを受け入れていましたが、現在は行っていません。他社では、インターンシップ者が後に、自動車整備に興味を持ち就職してくるケースが増えていることから今後は、前向きに検討していきたいと考えています。
- 求人は幅広く行っていますが新卒者の応募は皆無で有り、地域の学校との繋がりを大事にしており、転職希望の卒業生の紹介される事業者へと努力しております。
- 募集方法は主に、ハローワーク、民間求人広告を使用しておりますが意欲のある方には遠距離の方でも採用しており、現在でも奈良県大和郡山市から鈴鹿まで通勤している従業員が複数おります。

人材育成の取り組み

- 現在、外国人技能実習制度により外国人の採用しており、人材育成に取り組んでいます。また、地域の青年部会と協力し小学生や中学生を対象としたエンジンの分解などのイベントを開催したいと考えており、関係団体に働きかけをしています。

《人材確保に対するご意見》

- 熟練整備士からの技術継承には時間を要し外国人実習制度における実習期間の延長をしてもらえるように要望していきたいと思っております。

また、大型自動車整備や钣金修理には大型機械や大型工具を使用するため筋力が必要です。自動車整備に興味を持って頂いたにもかかわらず体力面等からリタイヤする外国人実習生も多いことから、技能実習生の斡旋は技能種毎に十分に考慮して頂きたいと思っております。



(整備作業中の風景)